



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月11日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東
 コード番号 2454 URL http://corp.allabout.co.jp/ir/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO (氏名) 森田 恭弘 TEL 03-6362-1300

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,694	26.8	△15	-	△29	-	△34	-
27年3月期第2四半期	2,913	58.6	66	-	51	-	33	-

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △32百万円 (-%) 27年3月期第2四半期 33百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△2.58	-
27年3月期第2四半期	2.51	2.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	4,286	3,526	81.9	260.48
27年3月期	4,414	3,576	80.7	264.34

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,511百万円 27年3月期 3,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	1.50	1.50
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	18.9	△70	—	△100	—	△140	—	△10.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）—、除外 一社 （社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	13,495,300株	27年3月期	13,486,300株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	13,566株	27年3月期	13,566株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	13,477,613株	27年3月期2Q	13,421,112株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の景気対策等の効果もあり雇用環境や企業収益が改善するなど緩やかな回復基調が続いているものの、新興国経済の減速など海外経済の下振れ懸念もあり、先行き不透明な状況で推移しております。

このような環境下で当社グループは、「メディア広告&ソリューション」「トライアルマーケティング&EC」「生涯学習」「グローバル」「C to C」「ウェルネス」「クラウドソーシング」「デジタルコンテンツ」といった8つの領域を中期的な注力領域とし、それぞれの領域に対しWEBとリアルの両面から最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,694百万円(前年同四半期比26.8%増)、営業損失は150百万円(前年同四半期は営業利益66百万円)、経常損失は29百万円(前年同四半期は経常利益51百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は34百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益33百万円)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、第1四半期連結会計期間よりファイブスターズゲーム株式会社の業績を連結損益計算書に反映させております。また、当社において新たなマネタイズ施策としてクライアント企業のオウンドメディア構築を支援する「コンテンツマーケティング」を推進してまいりました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの売上高は1,288百万円(前年同四半期比28.1%増)、セグメント利益は109百万円(前年同四半期比168.5%増)となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、主力の「サンプル百貨店」において取扱商品の拡充と会員数の拡大に注力し、売上高は前年を上回る水準で推移した一方で、会員数拡大のためにテレビCM等の積極的な広告宣伝活動を行いました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの売上高は2,419百万円(前年同四半期比26.2%増)、セグメント損失は59百万円(前年同四半期はセグメント利益60百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,989百万円となり、前連結会計年度末に比べ380百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が51百万円、繰延税金資産が48百万円増加した一方、現金及び預金が365百万円、受取手形及び売掛金が144百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ252百万円増加いたしました。これは主にのれんが133百万円、建物(純額)が101百万円、工具、器具及び備品(純額)が36百万円、ソフトウェアが28百万円増加した一方、差入保証金が54百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は707百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円減少いたしました。これは主に預り金が47百万円増加した一方、未払消費税等が46百万円、前受金が36百万円、未払法人税等が35百万円、買掛金が17百万円、未払費用が8百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は53百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が27百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,526百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を34百万円計上したこと及び20百万円の配当実施により、利益剰余金が54百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想は、平成27年11月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,157,279	1,791,927
受取手形及び売掛金	847,456	703,271
商品及び製品	241,324	292,524
未成制作費	24,740	10,950
前払費用	16,422	15,281
繰延税金資産	53,977	102,923
その他	31,987	75,160
貸倒引当金	△3,535	△2,759
流動資産合計	3,369,654	2,989,281
固定資産		
有形固定資産		
建物	43,328	112,013
減価償却累計額	△43,018	△10,471
建物(純額)	310	101,542
工具、器具及び備品	151,069	177,725
減価償却累計額	△127,601	△117,729
工具、器具及び備品(純額)	23,468	59,996
有形固定資産合計	23,778	161,539
無形固定資産		
のれん	454,970	588,678
ソフトウェア	226,958	255,879
ソフトウェア仮勘定	8,721	16,854
その他	2,396	2,162
無形固定資産合計	693,046	863,575
投資その他の資産		
投資有価証券	55,187	65,187
関係会社株式	23,353	8,445
破産更生債権等	10,765	10,765
長期前払費用	988	6,416
長期貸付金	19,870	13,870
差入保証金	186,892	132,252
繰延税金資産	14,928	19,303
その他	26,930	27,107
貸倒引当金	△10,765	△10,765
投資その他の資産合計	328,152	272,583
固定資産合計	1,044,978	1,297,698
資産合計	4,414,632	4,286,979

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	320,682	302,755
1年内返済予定の長期借入金	45,000	45,000
未払金	5,287	5,609
未払費用	199,420	190,648
未払法人税等	58,156	23,094
未払消費税等	58,326	12,279
前受金	69,135	32,754
預り金	13,950	61,011
賞与引当金	11,095	8,805
その他	30,296	25,467
流動負債合計	811,350	707,425
固定負債		
退職給付に係る負債	25,738	26,022
資産除去債務	—	27,000
その他	582	83
固定負債合計	26,320	53,105
負債合計	837,670	760,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,187,909	1,190,514
資本剰余金	1,842,939	1,845,544
利益剰余金	534,801	479,817
自己株式	△4,212	△4,212
株主資本合計	3,561,438	3,511,664
新株予約権	8,348	5,831
非支配株主持分	7,174	8,952
純資産合計	3,576,961	3,526,447
負債純資産合計	4,414,632	4,286,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,913,815	3,694,828
売上原価	849,916	1,305,999
売上総利益	2,063,899	2,388,829
販売費及び一般管理費	1,996,912	2,404,716
営業利益又は営業損失(△)	66,986	△15,886
営業外収益		
受取利息	5,899	978
その他	2,290	874
営業外収益合計	8,190	1,853
営業外費用		
支払利息	564	197
持分法による投資損失	19,338	14,908
為替差損	3,543	-
その他	245	740
営業外費用合計	23,691	15,845
経常利益又は経常損失(△)	51,484	△29,878
特別利益		
新株予約権戻入益	-	940
特別利益合計	-	940
特別損失		
固定資産除却損	2,774	3,237
本社移転費用	-	3,787
情報セキュリティ対策費	-	2,305
特別損失合計	2,774	9,330
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	48,710	△38,268
法人税、住民税及び事業税	19,598	16,168
法人税等調整額	△3,969	△21,439
法人税等合計	15,628	△5,271
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,082	△32,997
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△628	1,777
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	33,710	△34,774

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,082	△32,997
四半期包括利益	33,082	△32,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,710	△34,774
非支配株主に係る四半期包括利益	△628	1,777

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,002,146	1,911,669	2,913,815	—	2,913,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,392	4,907	8,299	△8,299	—
計	1,005,538	1,916,576	2,922,115	△8,299	2,913,815
セグメント利益	40,706	60,995	101,702	△34,715	66,986

(注) 1. セグメント利益の調整額△34,715千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△34,715千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,275,960	2,418,868	3,694,828	—	3,694,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,401	300	12,701	△12,701	—
計	1,288,361	2,419,168	3,707,529	△12,701	3,694,828
セグメント利益又は損 失(△)	109,296	△59,254	50,042	△65,929	△15,886

(注) 1. セグメント利益の調整額△65,929千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,929千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

昨今の当社グループにおける事業の多角化及びグループ会社の増加に伴い、当社は平成27年6月に本社を移転し、グループ会社の拠点集約を行いました。これを機に、今後更なるグループ経営の推進に取り組んでまいります。事業構造やビジネスモデルごとに区分した経営情報の開示を行うことが適切と判断し、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を従来の「メディアビジネス」1区分から、「マーケティングソリューション」「コンシューマサービス」の2区分に変更しました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「コンシューマサービス」セグメントにおいて、平成27年7月1日にディー・エル・マーケット株式会社の全株式を取得したことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては181,695千円であります。